

## 国際交流協定の締結～平成27年度は新規に4校～



漢城大学校との協定締結式

京都府立大学は、平成27年度に新たに海外の4大学と国際交流協定を締結しました。  
(大学間協定1、学部間協定3)

### ① 陝西師範大学(中国) (平27.5.12)

陝西師範大学は、1944年に設立され、陝西省西安市に所在し、教職員約2千8百人、学部生約2万人、大学院生約1万人ほか社会人教育及びインターネット教育の学生約4万人が在籍する大きな大学です。1955年には中国の重点大学100校に選ばれるなど、中国の西北地区を代表する教育大学です。協定締結の経緯ですが、2012年に本学が陝西師範大学の教員4名を招いた「国際京都学シンポジウム—ユーラシアからみた京都—」を開催し、古都学の視点から京都学に対して提言がなされ、両大学間の研究交流の継続

と、国際交流協定を締結する方向で取組を進めていくことが決まりました。2014年には本学の代表団が訪中し、「長安学と古代都城国際学術シンポジウム」に参加し議論を行うなど研究交流を積み重ね、2015年5月に本学で協定締結式を行い、両大学の友好関係に関する協定と、「国際京都学」「国際長安学」に関する共同研究について言及した覚書を締結しました。今後は、国際京都学の発展に向けた研究者・学生の交流の展開が期待されます。

### ② マケレレ大学(ウガンダ) (平27.9.28)

マケレレ大学は、1922年に開学したアフリカ最古の国立の高等教育機関の一つであり、首都カンパラに位置します。学部生約3万人と大学院生約3千人が学んでいます。獣医畜産防疫学部は1949年の設立以来1千人近い獣医師を輩出し、東アフリカを中心に畜産の振興と野生動物管理に貢献しています。協定締結の経緯は、本学生命環境科学研究科の牛田教授が、2014年10月にガーナ共和国で開催されたJICAのセミナーにおいて、JICAガーナ事務所の獣医師からウガンダでの研究実施について助言を受けたことがきっかけでした。2015年春には、マケレレ大学獣医学部長カバサ教授との連絡を開始し、ウガンダ共和国内の野生動物に関する共同研究を念頭に、国際交流協定を締結する方針がまとまり、9月に協定締結を行いました。締結直後の2016年1月には、マケレレ大学の教員を本学に招き、セミナーを開催しました。今後は、共同研究の実施等に向けた教員等のウガンダ派遣や国際シンポジウム等の開催、日本人学生の派遣など、交流が期待されます。

### ③ 漢城大学校(韓国) (平27.11.5)

漢城大学校は、ソウル特別市城北區に位置する私立大学で、大学校の中に人文大学、社会科学大学、芸術大学、工科大学等を有しています。人文大学の歴史文化学部は、韓国と東洋・西洋の歴史を研究・教育しています。協定締結の経緯は、本学文学部歴史学科の井上教授が韓国留学中から交流のあった鄭好燮学部長が2014年来日した際に、締結の打診があったことがきっかけでした。その後、ソウルで開催された学術大会へ井上教授が参加し、両大学の学術交流のあり方などについて意見交換を行いました。

2015年に入ってから、歴史文化学部教員7名が来日し本学教員8名と研究交流を行うとともに、協定締結を進める意向を確認し、11月に協定締結を行いました。今後は、研究者や大学院生の学術交流などが期待されます。(2ページ目へ続く)

### [京都府立大学の国際交流協定締結先] (平28.3.31現在)

大学名	国名等	締結年月日	備考
西安外国語大学	中国	昭57.3.18	
雲南農業大学	中国	平16.8.17	
ラヴェル大学	カナダ	平21.3.9	
ウィーン農科大学	オーストリア	平21.10.2	
キングモンクット工科大学 トンブリ校 [生物資源工学研究科]	タイ	平22.1.14	生命
昆明理工大学	中国	平22.3.3	
雲林科技大学[設計学院]	台湾	平22.5.31	生命
タデウラコ大学	インドネシア	平25.3.28	
Mahidol 大学 [薬学部]	タイ	平25.7.26	生命
ガーナ大学 [農業消費科学部]	ガーナ	平25.10.14	生命
レーゲンスブルク大学 [言語コミュニケーションセンター]	ドイツ	平25.12.20	文学
タクシン大学 [技術・地域開発学部]	タイ	平26.12.15	生命
陝西師範大学	中国	平27.5.12	
マケレレ大学 [獣医畜産防疫学部]	ウガンダ	平27.9.28	生命
漢城大学校 [歴史文化学部]	韓国	平27.11.5	文学
ハノイ医科大学 [予防医学・公衆衛生学 研究所]	ベトナム	平27.11.19	生命

※備考欄に記載がある場合は学部間の協定(生命…生命環境科学研究科、文学…文学部)

### 目次

- 1 国際交流協定の締結
- 2 海外への扉～留学交流会参加者からのひとこと～
- 3 文学部国際京都学プログラム「世界遺産都市研修1」オーストラリア・マッコリー大学での研修準備
- 4 英国パース大学での研究留学と就職活動について  
国際交流協定校交流便り

## ④ ハノイ医科大学（ベトナム）（平 27.11.19）

ハノイ医科大学は、1902年に開学したベトナム最古の国立の医科大学であり、ハノイ中心部に位置し、医学部をはじめ6学部を有し、学部生約6千5百人、大学院生約3千5百人が学んでいます。2010年には、公衆衛生学部に予防医学・公衆衛生学研究所が新設されました。協定締結の経緯は、2014年に本学生命環境科学研究科の中村教授が日本栄養士会の依頼によりハノイ医科大学栄養士養成コースの学生に対して集中講義を行った際、教育環境の整備と共同研究への協力要請と、本学との協定締結の意向を受けました。その後、2015年に同教授が同大学を訪問し、共同研究テーマの協議と協定締結の意向を再確認しました。締結の際は中村教授が現地へ赴き、「和食研究（特に京野菜の機能性）を基盤としたベトナムの食材への期待」をテーマ

に記念講演を行いました。

今後は、ハノイ医科大学教員への本学や京都府内研究機関での講演等の依頼、本学からハノイ医科大学の講義・講演や国際シンポジウムへの教員・大学院生の派遣などを行う予定です。



ハノイ医科大学との  
協定締結の様子

☆☆ 海外への扉 ～留学交流会(H27. 11. 27開催)参加学生からのひとこと～ ☆☆

レーゲンスブルク大学長期留学経験者

文学部欧米言語文化学科4回生 岳山 美帆

私は2013年11月から一年半、南ドイツを中心に四つの都市に滞在し、それぞれの街でオペア（住み込みのベビーシッター）として働いたり、飲食店で働いたり、語学学校や大学に通ったりしました。大好きなドイツ語に囲まれての日々は私にとって大変刺激的なものであり、ビザの取得や住居探しなど苦労もしましたが、その分得たものも多かったと実感しています。

留学をして得られるのは、語学力の向上だけではありません。例えば、人種・母国語・宗教に関係なく、多種多様なバックグラウンドの人たちと知り合って友達になると、世界中の様々なことが身近になります。私自身、日本から遠く離れた国で起きている事件をテレビで目にしたとしても、それが起きているのは「遠く離れた国」でなく「友達の故郷」だと捉えられるようになりました。つまり、いろんなことが自分にとって無関係なものではなくなるのです。留学をしなければ考え方の変化を得られないというわけではありません。しかしながら、自分の生まれ育った国から離れ異文化に囲まれてみるというのは、自分の中の「常識」をもう一度見つめ直すための絶好の機会であるということ間違いありません。

留学をしたいと考えている方、なんらかの不安があって留学に踏み切れない方は、兎にも角にもまず実際に留学経験者に話を聞いてみてください。海外留学は海外旅行ではありませんから、経験談は楽しい内容ばかりではないかもしれませんが、辛かった経験やもう帰国したいと思った経験も含めて話を聞き、それでも依然として留学したいと思うなら、その思いは大切にすべきです。



京都府名誉友好大使 カナダ人留学生

文学研究科修士2年 ドゥーガール アレクサンドリア メリー

Japan is a country that loves nature: flowers, plants, and trees such as sakura, ajisai, momiji, take, and bonsai. You may feel that you will miss Japan's beautiful nature when you study abroad in a foreign country, but if you choose Canada, that may not be the case! Canada is a country known for its large-scale nature: mountains, lakes, rolling hills, and snow covered cities. But Canada has its share of smaller scale nature that you can enjoy as well. Even in my small hometown, Halifax, Nova Scotia, there is a famous park called "The Public Gardens". For most of the year (except winter) the park has beautiful grass, trees, and flowers. Special exhibits even change based on the season, reminiscent of the Kyoto Prefectural Gardens. Some popular flowers are roses, tulips, hyacinth, carnations, and daffodils. It is a really lovely place to take a stroll, read a book, or eat your lunch. While special flowers like sakura may be a little difficult to find in foreign countries, there is plenty of nature to enjoy that will keep you from getting too homesick. Canada's nature is just waiting for you to explore it!



## 文学部 国際京都学プログラム「世界遺産都市研修Ⅰ」 オーストラリア・マッコーリー大学での研修準備



文学部は2016年度から国際京都学プログラムをスタートさせます。このプログラムの画期的なところは、3学科を横断して、京都を多角的な視点から学び・論じ・伝えるという点で、新たに「国際京都学入門」や「国際京都学フィールド演習」といった講座が開講される予定です。そのプログラムのひとつとして、欧米言語文化学科が文学部1回生対象の専門科目として準備を進めているのが「世界遺産都市研修Ⅰ」です。

この授業のねらいは、オーストラリア・マッコーリー大学での約1ヶ月間にわたる語学・文化研修を通じて、異文化への理解や発信能力を向上させることです。本授業の特徴をひとことでまとめると、「世界遺産を共通点に京都とシドニー、日本とオーストラリアを結ぶ」と言えるでしょう。受講生はマッコーリー大学の学生に向けて、京都の世界遺産をもとにした地域文化に関するプレゼンテーションを行います。そのため渡航前の事前学習では、プレゼンテーションの準備として、的確な英語表現や発表態度、視覚資料の効果的な使い方などを学び、いかにして京都の魅力を伝えるかを考えます。同時に事前学習ではオーストラリアの歴史的・文化的背景、オーストラリア英語についての講義等を受けます。このような出発前の準備・学習は、現地での研修をより豊かなものにしていくと考えています。

渡豪後、現地では午前中に英語研修があり、午後からは学生との交流やシドニー見学ツアー、そしてグループの課題に取り組む時間が設けられています。受講生はグループごとの課題に基づいたシドニーでのフィールド調査を行い、帰国後に「成果発表」として、調査を通じて得られた知識や発見をもとに、シドニーと京都について、比較文化の視点から英語でプレゼンテーションを行うことになっています。（この発表は府民にも公開する予定です。）シドニーにはシドニー・オペラハウスや囚人遺跡群といった世界遺産、また、入植時代の建築物や史跡が点在しています。このフィールドワークを通じて、参考書やガイドブックでは見つけることのできない、独自の視点による考察、文化の比較ができると考えています。この他にも希望によって、マッコーリー大学の講義を受講するといったア

文学部 欧米言語文化学科 准教授  
出口 菜摘

クティヴィティもあります。

このコースの開講のため、私は平成28年2月8日～14日にかけて渡豪し、マッコーリー大学で最終的な打ち合わせを行いました。同大学の Study Tour Program 担当者であるジャッキー・マッキントッシュさんが、昨年4月と11月に府立大学に訪された際、このプログラムの内容・目的について相談、さらにメールのやり取りで具体化に向けて話を進めてきました。今回の調査では、上記のようなプログラム内容の詳細を詰めるとともに、交通機関や治安の確認など、受講生たちが研修に集中できるよう現地の様子を調査することが目的でした。なお、この調査は大学コンソーシアム京都「海外留学派遣プログラム開発支援事業」に採択され、支援を受けています。

以上、駆け足で「世界遺産都市研修Ⅰ」を紹介させていただきました。受講生は異文化圏における世界遺産のあり方や取り組みを通じて、京都文化の特質を国際的な視野から捉えることができるようになると思っています。また、本研修で身につけた高い言語運用能力を通じて、京都文化を国内外へ発信することができるようになるでしょう。この授業は、「みやこの文化」の継承と発展、「グローバル」な文化交流に貢献するものになると確信しています。実施が楽しみです。



## 英国バース大学での研究留学と 就職活動について

生命環境学部卒業生  
バース大学大学院進学 川本 雅典



私の留学の目的は、主にイギリスの大学での修士号取得でした。留学準備で英語力要求を満たすために英語漬けの毎日を送り、国際試験で必要なスコアを取得しての渡英でしたが、いきなりの実験演習やプレゼン、エッセイ、講義に心が折れそうでした。マネジメントやエンジニア系の専攻とは違い、クラスのほとんどがネイティブであるという事実に加え、多く発言することが推奨される環境は苦痛でしかありませんでした。しかし、そうした中に身を置くことで得られるものも多くありました。毎週のように課されるプレゼンやディスカッションをこなす事は自信に繋がりと、パブなどへ行って厳しいコース内容を友達とシェアすることで英語のアウトプットスピードを上げることができました。修論実験中は能動的に研究を進めることが求められ、Supervisor や PhD の学生に方針を伝える度に Why? という質問を投げかけられました。自分の立てた仮説について論理的に説明していくことで、自らの研究に対する理解も深まった上に、批判的な思考力を養うことができたと感じています。

海外での就職活動は、短期決戦です。私はロンドン CFN、バルジョブ、東京サマーCFN に参加しましたが、どれも非常にタイトなスケジュールだったと記憶しています。こうした留学生を対象とした就職イベントでは、早ければ 1~3 日で内定をもらうことが可能です。しかし裏を返せば、その期間中に決めてしまわなければ優良企業への就職は難しくなります。というのも、海外大学の多くは秋卒業であり、本帰国後だとほとんどの企業が選考を終えているからです。就職活動に際して苦労したことは主に 2 つです。1 つはほとんど情報がないことです。WEB テストの教材や就職情報誌は当然ですが海外では手に入りません。また、就職説明会等も数社しかなく、当日にブースに行き話を聞か、いきなり選考を受けるしかありません。そのため、HP から得た情報と企業側が実際に考える方針とのギャップに混乱することもありました。2 つ目は、就職イベントの時期が大学の試験期間や複数のエッセイ締切りとかぶっていたことです。これらの課題と平行して ES 作成や面接対策をおこなわなければならなかったため、特に 5 月はほとんど寝る間がありませんでした。

海外で就職活動をおこなう 1 番のメリットは、上手くいけば数日で内定が出ることです。私自身 3 日で内定をもらうことができました。また、いろんな業界を 1 日のうちに一気に見る機会があることや、面接で聞かれる質問がある程度決まっていれば対策しやすいことがあげられます。

上記のとおり、正規留学は決して楽な選択ではありませんが、チャレンジングな環境に身を置いて成長したいという人には最適な環境であり、貴重な経験になることは間違いありません。

## 国際交流協定校 交流便り

### 第 3 回 : Mahidol 大学



#### 熱帯地方の医薬

生命環境科学研究科  
教授 中村 考志

Mahidol 大学は 1888 年に創立された 17 学部をもつタイ王国の総合大学であり、キャンパスは首都のバンコクに 3 カ所と郊外に 3 カ所もっています。学生数はおよそ 3 万人の大きな大学ですが、教職員数（非常勤講師と臨時職員を含む）は学生数よりも多い 3 万 3 千人で研究教育をおこなっています。にわかには信じがたい数字ですが、大学も大きなコミュニティーになり、多様性が増すにしたがい、様々な部門で綿密なケアをおこなうためにはこの教職員数が必要であることを現地に赴くと感じます。

生命環境科学研究科が協定を結んでいる薬学部は通称 MUPY (Mahidol University, Faculty of Pharmacy) と呼ばれ、バンコク中心部に医学部と附属病院に隣接してキャンパスをもちます。バンコクのメイン空港であるスワンナプーム国際空港からエアポートリンク鉄道で終点パヤタイ駅まで 20 分間乗車し、そこから徒歩 10 分のたいへんアクセスのよい立地であり、キャンパス周辺は王宮をはじめ官公庁のビルが林立しています。

タイの医薬が日本と異なる点のひとつは熱帯圏の国であるがゆえの、食中毒と毒蛇対策にも主眼を置く必要があることかもしれません。2015 年 9 月に MUPY の学部 3 回生の臨地実習に同行する機会があり、その日の実習は毒蛇の種類と生態を学ぶためタイ赤十字社のスネークファームを訪れました。ここは毒蛇の血清はじめ、狂犬病、破傷風等のワクチンを常備しており、日本よりも安価でワクチン接種を受けることができるため旅行者もよく訪問すると説明を受けました。学生の実習では職員が慣れた手つきで箱からキングコブラ、グリーンスネークなど次々に猛毒の蛇を取り出し、おのおの蛇の性質や行動様式を時には蛇を威嚇しながらの説明をされていました。

MUPY 学部長との懇談では、これまで多くの国際学術交流協定を締結してきたけれども書類事実先行で実体を伴わない協定が多いため KPU とは教員間・大学院生間の実のある深い交流をしていきたいと期待を込めて要望をいただきました。2015 年 7 月に MUPY と KPU は学術交流協定を更新し、現在は第 2 期目の 5 年間がはじまったところです。第 1 期目から開始した共同研究テーマの「糖尿病・がん疾病患者に生活の質の向上をもたらす熱帯・亜熱帯圏の植物遺伝資源の特定」について、教員間の交流の継続とともに進めていきたいと考えていますが、大学院生間の交流をはじめるための基盤（女性大学院生が安心して宿泊できる宿舎の整備あるいは確保、渡航・滞在費の潤沢な補助）を KPU に構築することも必要と考えています。

発行日 2016 年 3 月

発行責任者

京都府立大学国際交流委員会委員長 川瀬光義

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町 1-5

TEL: 075-703-5905 Email: kokusai@kpu.ac.jp